

わいわい 市議会だより



北条鉄道6駅トイレ完成感謝
法華口三重塔ライトアップ

12月定例会(11.29~12.19)を開催

ページ

- ② 11月臨時会、12月定例会提出議案
- ③ 委員会審議
- ⑤ 討論
- ⑥ 議決結果
- ⑦ 議員報酬、請願の審議結果
- ⑧ 質疑・一般質問
- ⑯ 議会報告会
- ⑯ 視察報告、3月定例会の日程

No.138

2014.2

兵庫県加西市議会

題字 三宅羅山 書

11月臨時会（11月12日）

○議案第69号 教育委員会委員の任命につき同意を求ることについて

教育委員会委員である永田岳巳氏が平成25年9月26日をもって退任したため、新たに松本直行氏の委員の任命につき議会の同意を求めるもの。

(議決結果) 全会一致で可決

12月定例会（11月29日～12月19日）

提出された主な議案

○議案第70号 加西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

市民サービスの向上のために、地番図及び航空写真図交付手数料を新たに規定するもの。

○議案第71号 一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

標準の勤務成績である55歳を超える職員の昇給停止及び平成18年度給与制度改革に伴う現給保障経過措置の廃止等、所要の改正を行うもの。（平成26年1月1日施行）

○議案第72号 加西市消防団条例の一部を改正する条例の制定について

加西市消防団の現状を踏まえ、資格要件及び消防団員の定数の見直しを行うとともに、これにより生じる財源をもとに団員報酬の改正を行い、待遇改善の一助としようとするもの。

○議案第73号 加西市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

道路法等の一部を改正する法律（平成25年法律第30号）の施行に伴い、「国の行う事業」の占用料免除が法定化されたため、減免規定について所要の改正を行うもの。

○議案第74号 加西市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部改正（平成26年1月3日施行）に伴い、法律名の改正及び入居者資格適用対象拡大に伴う所要の改正を行うもの。

○議案第75号 加西市開発調整条例の一部を改正する条例の制定について

太陽光発電設備など新たな土地利用、市街地の土地利用の促進及び手続の短縮化を図るため、基準や開発事業等について改正を行うもの。

○議案第76号 加西市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

水道料金の適正化による市民生活の負担軽減を図るため、平成26年1月1日から料金値下げを行うもの。

○議案第77号 加西市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市内の廃棄物処理について、平成26年4月1日より小野加東環境施設事務組合に加入し、ごみ処理事務の共同処理を行うことに伴い料金均衡を図るとともに、共同処理に伴う経費削減により収集手数料を減額しようとするもの。

○議案第78号 加西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

子育て世代の負担を軽減するため、幼稚園の入園料及び保育料の減額を行うよう改正するもの。

○議案第79号 加西市公民館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

公共料金見直しに伴い、市内体育施設等の料金体系の統一、テニスコート使用料の近隣市との均衡及び芝を敷設し整備したグリーンスポーツ広場と多目的グラウンドの料金設定を行うもの。

○議案第80号 小野加東環境施設事務組合への加入について

小野市、加東市が組織する小野加東環境施設事務組合へ平成26年4月1日から加入し、ごみ処理事務等の共同処理を行うことについて議決を求めるもの。

○議案第81号 平成25年度加西市一般会計補正予算（第4号）について

- ・災害対策費（老朽化した兵庫衛星通信ネットワーク設備を更新するための負担金）
- ・社会福祉総務費（国民健康保険特別会計の収支不足を補填するための同会計への法定外繰出金等）
- ・障害者福祉費（障害サービス費の増加に対応するための介護訓練等給付費）
- ・健康福祉会館費（健康福祉会館の雨漏りに対応するための修繕料）
- ・児童福祉総務費（安心こども基金を活用し、子供・子育て支援新制度に係る電子システム対応作業を行うもの）
- ・児童措置費（民間事業者の病児病後児保育施設整備に当たり、事業費の一部を補助するもの）
- ・児童福祉施設費（泉第三保育所裏山からの出水対策を行うための工事請負費）
- ・扶助費（生活保護に係る入院患者及び高額手術の増加に対応するための医療扶助費）
- ・母子衛生費（特定不妊治療費及び未熟児養育医療給付費に係る申請の増加に対応するもの）
- ・環境保全対策費（住宅用太陽光発電システム設置補助申請の増加に対応するもの）
- ・塵芥処理費（ごみ処理広域連携に伴い、小野クリーンセンターへのごみ搬送車輌を購入するもの）
- ・農業振興費（国庫補助を活用した農地集積協力金、青年就農給付金等）
- ・農業施設災害復旧費（8月から9月の豪雨による農地・農業施設の災害に係る復旧を行うもの）

委員会審議

建設経済厚生委員会

○加西市水道事業給水条例の一部改正（議案第76号）

及び、水道事業会計補正予算（議案第83号）

（主な審議内容）

問 平成30年以降については赤字が出るとの説明だが、水道料金を一時的に値下げしても、またこの先で値上げすることになったり、赤字がかさむようなことがあってはならない。その対策として受水費を下げることが重要であるが、その意気込みや決意は。

答 水道事業は、企業会計の理念に基づき、平成30年までは値下げを行いますが、その後の見通しは立っていません。しかし、県水は平成23年4月から大きく引き下げられており、今後も平成28年4月から見直しが行われるであろうとのことです。また、県へは折に触れて引き下げの要望をしており、前向きな感触も得ています。これらのことから、現時点において持続可能性を判断し、引き続き平成30年以後も同料金を提供できるという確信のもとでやっております。

問 値下げの財源について、平成30年までは利益剰余金を充当し、以降は下水道会計への貸付金を使うことで水道料金を持続できないか。

答 水道事業会計の運営において、将来の投資に対する積み立てであるため、手をつけるべきではないと考えております。

（議決結果）

賛成5、反対1で可決（議案第76号及び議案第83号）

○加西市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正（議案第77号）及び、小野加東環境施設事務組合への加入について（議案第80号）

（主な審議内容）

問 ごみ袋の値下げは、広域化するからこそ可能なのか。
答 小野加東との連携による効果額が見出せるための値下げです。

問 加西のクリーンセンターは、今すぐに大規模改修が必要なほど危険な状態なのか。

答 加西市の焼却炉は、本来であれば16時間で31トン焼却できるが、現在は24時間運転で約30トン程度しか焼却ができないほど機能低下しています。日々の持ち込み量は約40トンであり、1炉の焼却能力では間に合わず、2炉の運転を余儀なくされています。仮に故障となれば、ごみ処理ができなくなるため、早急に大規模改修をする必要があります。

問 長寿命化工事で10年から15年保たせることはできないのか。

答 長寿命化工事はあくまで15年間で修繕を行っていく計画であり、これとは別に、見えない部分での高額な補修が必要となることから、大規模改修をするよりも結果多くの費用がかかることになります。

問 小野加東の焼却炉の大規模改修が突然必要になった場合、加西市の負担はどうなるのか。また、大規模改修するような事態が絶対に起こらないと市長が断言できるのか。



答 小野加東の焼却炉がもつのであれば、できる限り使っていくほうが、お互いのメリットだと考えていますが、大規模改修がいつ起こってもいいように、話し合いをまとめ、将来の構想をしっかりと確認しておくことが必要と考えています。そのため、できるだけ早く4市1町の広域化に向けた協議を始め、1月早々にも協定を結び、4月から事務的な検討を開始していきたいと考えています。

(議決結果)

議案第77号は、賛成5、反対1で可決
議案第80号は、賛成4、反対2で可決

総務委員会

○加西市消防団条例の一部改正（議案第72号）

（主な審議内容）

問 消防団の現状について。

答 平成20年から平成22年に30名の減、平成23年から平成25年の間は、改正後の定員数とほぼ同数の1,410から1,415人の間を推移しており、うち約9%が市外居住者と推測されます。

問 市外居住者が火災時において30分以内に現場へ到着できるのか。

答 市外といつても加西を少し出たところに居住している方がほとんどであり、消防団活動には支障はないものと考えています。また、次年度以降の名簿については、現住所で作成するため、消防団員として支障のない範囲に居住しているという資格要件を満たさない方も出てくると考えられますが、消防団活動には火災を消すことだけではなく、予防消防、防災訓練等の活動もあるため、到着可能時間のみで判断し、意欲のある方を排除することがないよう、柔軟に対応していきたいと考えています。

(議決結果)

全会一致で可決

○加西市立幼稚園の設置及び、管理に関する条例の一部改正（議案第78号）

（主な審議内容）

問 保育料軽減の適用範囲について。

答 幼稚園と児童園の短時間保育部を適用範囲とし、

対象園児数は150人程度、また、保育所と児童園の長時間部の対象外園児数は430人程度となります。

意見 対象外となる園児のほうが多く、子育て支援として負担軽減を行うのであれば、対象範囲を拡大する必要があったのではないか。また、児童園の体系として、同じような保育内容に対して短時間部、長時間部において料金が異なるのは違和感がある。

(議決結果)

全会一致で可決

○一般会計補正予算（議案第81号）

（主な審議内容）

問 保育所運営システム開発のメリットについて。

答 現在、保育所・児童園が個別で受け入れを行っているものを、システム改修により、まず入園受付を統合し、その後、年齢・保育要件によりグループ化し、児童園もしくは保育園認可の決定をしていくことで、入園受付、受け入れ決定、保育料の設定、徴収までを幼保一体で事務処理が行えます。

要望 病後児保育施設について、医療機関が開設する、医師、看護師、保育士がいる保育所は、他市に先駆けた施設であることから、保護者への周知を十分していただきたい。

(議決結果)

全会一致で可決

討論

討論とは、議員が表決の前に、議題となっている案件に対し賛成か反対かの自己の意見を表明することです。12月議会では、9名の議員が討論を行いました。

■議案第76号 加西市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

【賛成】

- 利益剰余金を取り崩しながらも、平成30年までの値下げが実施される。引き下げと合わせて、安価な水の購入手段について議論することが、「加西市の水が近隣より高い」という風評リスクをなくしていくことにもつながる。
- 近隣自治体と仲良くすることも大切だが、市民からの税金で市政を運営する以上、有効に使うべきである。まず、値下げによって行政がみずからにプレシャーをかけ、その上で継続のために受水費用削減に努めている点が評価できる。
- 「市川町からの友愛の水を、全て県水に」といった考えは、薄情に過ぎるかもしれないが、平成28年度に予定されている県水の料金改定を受けて、市川町も値下げ要求を飲まざるを得ないであろうという追い風もある。今後、いい協議ができるよう期待している。

【反対】

- 値下げは平成30年までの時限的なものであり、以降は展望もないままに単年度の累積赤字だけがふえていく。これでは、安定的、継続的な水道事業の運営とは言えない。
- 利益剰余金が5年後にゼロになるまで取り崩すような、今回の値下げは疑問である。マニフェストの実現を急ぐのではなく、平成28年の県水の値下げを待ってから、全体の料金を検討しても遅くない。



■議案第80号 小野加東環境施設事務組合への加入について

【賛成】

- 最終目標である北播4市1町の広域化までの間、小野加東環境施設事務組合と連携することにより、市単独で炉の大規模改修という、大きな投資をしない方向性は正しい。これによって経費削減、スムーズな広域化への移行につながる。
- 今後10年ないし15年間、大規模改修を行わないというのは、広域化されるまでと考えれば整合性がとれる。そのための維持管理を行うことで、3自治体の首長が確認しており問題はない。
- 比較されている加西市クリーンセンターの大規模改修費20億円は、例えば10億円の改修で済んだとしても、広域化まで10年、15年もたせるためにかかる費用を含んでいるものと考えられ、妥当な見込みである。
- 小野市は焼却炉を連続運転できるメリットがあるものの、ごみは燃やせば燃やすほど有害物質が排出され、また、運搬車両の通行による影響もある。逆に加西市が小野市のごみを引き受けとなれば、相当の反対が考えられ、小野市長は相当な決断をされている。
- 折しも、加西市の炉について、大規模改修を検討しなければならない時期に来ている。このタイミングにおいて、小野市からのごみ処理引き受け提案は逃すべきではない。タイミングを逸した場合、効果額を逆にとらえた1億強、負担がふえることとなる。

【反対】

- 市民への説明が不十分であり、周知、検討期間が短すぎる。
- 小野クリーンセンターの炉は寿命が改善されており、今後10年ないし15年間の適切な運営に努め、大規模改修を行わないよう維持管理するとのことだが、その根拠が曖昧である。
- 平成23年度から2年間、8,400万円をかけて更新した、中央監視制御室のシステムを、たった1年余りで放棄するのは税金の無駄遣いである。
- 加西市クリーンセンターは、組合加入後も、小野市への搬入中継基地として活用する予定である。そのため処理に係る一部として、加西市ではなく、小野加東環境施設事務組合の施設として管理するべきである。そうでなければ、今後、広域化の施設を新設する場合、現加西市クリーンセンターと組合施設、二重の解体費用の負担を強いられることとなる。
- 加西市クリーンセンターは、建設当時より炉の延命化を願い、一部有料制度等の導入により、ゴミの分別やリサイクル意識の向上がなされてきた。膨大な修繕費が問題となっているが、炉の温度を下げてしまう非効率な生ごみをリサイクルするなどして、延命が図れるのではないか。
- 自治体規模は異なるが、徹底した30種類以上の分別を行う中で、ごみの量を3分の1に減らしたという上勝町の例もある。広域化ではなく、地域で分別して資源を生かしていくのが原則ではないか。

第250回 加西市定例会議決結果一覧 平成25年11月29日(金)～12月19日(木)

■全会一致で可決、答申した議案

- 質問第5号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
 議案第70号 加西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第71号 一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第72号 加西市消防団条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第73号 加西市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第74号 加西市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第75号 加西市開発調整条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第78号 加西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第79号 加西市公民館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
 議案第82号 平成25年度加西市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

■賛否の分かれた議案(採決の行われた順に掲載)

○…賛成 ×…反対

議 案	松尾幸宏	植田通孝	深田真史	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	高橋佐代子	別府直	黒田秀一	井上芳弘	森元清蔵	三宅利弘	織部徹	森田博美	土本昌幸	議決結果	
議員提出議案第7号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (月額報酬の10%カット)	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	原案否決 ※1 (賛7、反7)	
議員提出議案第6号 議会の議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について (期末手当の0.45ヶ月分カット)	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	議長	○	○	○	○	原案採択 (賛8、反6)	
議案第76号 加西市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)	
議案第77号 加西市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)	
議案第80号 小野加東環境施設事務組合への加入について	○	×	×	○	○	○	×	×	○	×	○	議長	○	○	○	原案可決 (賛9、反5)	
議案第81号 平成25年度加西市一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)	
議案第83号 平成25年度加西市水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)	
意見書案第3号 新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める意見書(案)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)	
意見書案第4号 TPP交渉からの撤退を求める意見書(案)について	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	原案可決 (賛10、反4)

* 1 …可否同数につき、議長裁決により原案否決

議員報酬について

加西市の厳しい財政状況に少しでも協力するため、期末手当からの独自カットを行ってきましたが、条例が平成25年9月30日で期限を迎えたことから、9月定例議会の最終日に全議員で構成する議員報酬検討特別委員会(三宅利弘委員長)を設置し、議員報酬の今後のあり方について検討を進めてきました。

(委員会で述べられた意見)

- 職員も子育て支援のためにカットしており、議員もボーナスカットを継続すべき。しかしながら、議員定数を3人減らし、近隣市町と比べても少ない15人の定数でもって財政に寄与している点が考慮されていないのは残念。
- 選挙で選ばれたことに誇り、プライドを持って仕事をしている。報酬のカットよりも、報酬審議会において妥当な金額を見い出してください。
- 今回は特に教育長の問題も含めて、我々もある程度責任を取る必要があり、年額の10%の削減が妥当。
- 加西市の状況を踏まえると、報酬10%カットが妥当であり、条例を改正して引き下げはどうか。教育長関連については、この報酬で云々という議論はふさわしくない。
- 近隣の市町村と人口面で比較しても、高いほうではなく、むしろ低いほうである。議員の貢献という面では、議員の報酬減による財政対策ではなく、政策の中で財政を健全にしていくという頑張りが期待されていると思う。
- 日当制も含めた形で報酬審議会を早期に開催し、報酬額を決定していただきたい。今回は、特に教育長の問題も含めて、議員も責任をとる必要がある。
- 9月議会で信任した西村市政が掲げる5万人都市再生、人口増という第一の目標が達成されていないのは、議会にも責任がある。月額の10%を削減すべき。

期末手当から0.45ヵ月分(年間3.5ヵ月支給)をカットする案と、月額報酬の10%を削減する案が出され、委員会では可否同数となり、委員長裁決により期末手当のカット案が可決。本会議では、同案が賛成多数により可決となりました。

(本会議での議決結果については、P 6をご参照ください。)

請願の審議結果

12月定例会では、請願2件をそれぞれ所管の委員会に付託して審議、本会議最終日で採決を行い、以下の議決結果となりました。

■ 請願第3号 新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める請願

近年、活字離れが進み、新聞の購読率が低下傾向にあるなかで、新聞購読料の消費税アップは新聞離れに拍車をかけることになり、次の世代の知的水準への深刻な影響が憂慮されることから、消費税の引き上げに際して、新聞への軽減税率を適用することを求める意見書を国に対して提出していただきたい。

■ 請願第4号 TPP交渉からの撤退を要求する請願

TPPは、農林漁業、食の安全、医療制度、保険など、国民生活への影響は大きいが、その交渉内容や経過についての情報公開、国民的議論は不十分である。さらに農産品5品目の関税撤廃の除外ができないなど、国益を守れる保障がない。このようなTPP交渉からの撤退について、国の関係機関に意見書を提出していただきたい。

■ 本会議での議決結果(採決の行われた順に掲載)

○…賛成 ×…反対

議 案	松尾幸宏	植田通孝	深田真史	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	高橋佐代子	別府直	黒田秀一	井上芳弘	森元清蔵	三宅利弘	織部徹	森田博美	土本昌幸	議決結果
請願第3号 新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める請願	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案採択 (賛13、反1)
請願第4号 TPP交渉からの撤退を要求する請願	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	原案採択 (賛10、反4)

12月定例会

ここが聞きたい
市政をただす

質疑・一般質問

12月9日、10日の本会議では、質疑7名、一般質問11名の議員が発言し、議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。(発言順に掲載)

その他の質問については、議会中継や、会議録検索システム(3月中旬に掲載予定)でご覧いただけます。

- 質 疑…市長から提案された議案等の議題となっている案件に対し、不明確な点を問い合わせ、案件の提出者等に説明や意見を求める。(1人当たりの制限時間は40分)
- 一般質問…市長を始めとする執行機関に対し、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて聞くこと。(1人当たりの制限時間は60分)

小野加東環境施設事務組合への加入について(議案第80号) 質 疑



黒田 秀一 議員
(自民の風・誠真会)

問 小野加東環境施設事務組合に加入した経緯について。

答 昨年5月に、小野市より加西市のごみの搬入についての調査研究を行いたいということで、ごみ関連の調査研究を開始いたしました。そしてこの5月におおむねの連携の内容が固まりましたので、各それぞれの3市の市長の承認を得て、この6月に組合への加入について正式に話し合いをしていくことを決めたところです。

そして今回のごみの連携につき

ましては、ごみの広域化である北播4市1町でのごみ集積所をつくるというのが大きな目的であり、その前段として今回は小野加東へ加西のごみを搬入することが決定したところです。

問 初当1億300万円と示された負担金について、今後の増加見込みと、小野クリーンセンターの大規模改修予定について。

答 負担金は規約に基づいて支払うこととなっており、ごみの搬入量により若干の上下があります。このため、26年度は1億2,000万円で予算化しており、ごみの量ができるだけ減らして負担金を減らすのが当面の目標です。

また、協議において大規模改修については、今後15年間は行わないこ

とを確認しています。

問 現在、直接加西のクリーンセンターへ搬入されている一般家庭ごみや、祭りや催し後の大量ごみについても、今後は小野まで運ばなくてはならず、市民に大変な不便をかけることとなるが、この対応についてどのように考えているか。

答 タウンミーティングでも要望については確認しており、4月までに何らかの対策を講じたいと考えています。

■他の質問項目

- ・加西市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正(議案第77号)

加西市立幼稚園の設置及び管理条例の一部改正について(議案第78号)

質 疑



三宅 利弘 議員
(21政会)

問 今回の改正では、幼稚園の入園料を8,000円から6,000円に、保育料を月額6,300円から5,000円に、それぞれ減額されることは結構なことではあるが、対象園児が幼稚園児（5歳児）と幼児園児の4、5歳児の短時間保育部を選択した子供たちのみになっている。そこでお尋ねをしたい。

①26年度の対象園児数と対象外園児数はどのようにになっているのか。

答 今回の値下げに該当する平成26年度の幼稚園、また、幼児園児の短時間部の現在の見込

み数は150人程度、それから対象外となる公立、私立の保育所の4、5歳児の在籍数は430人程度と見込んでいます。

問 ②次に保育料についてどのような違いがあるのか。

答 幼稚園と短時間保育部の保育料は預かり保育料金も含めますと月額2万円程度となります。また、保育所の保育料は、両親の所得と子供たちの年齢によって異なります。3歳以上では、生活保護世帯を除き最低額は5,500円、最高額は41,500円で保育料の平均額は、おおむね30,000円前後となります。

問 ③今回の改正では、幼稚園での短時間部と長時間部での違いがあらわれ、また、私立の5歳児の子供も対象外となっている。またこのような対象外の子供たち

のほうが多いのに、なぜこのようない不公平な形となったのか。せめて5歳児の子供までは対象とすべきではなかったのか。協議を行ったに当たり、このような議論は出なかつたのか。

答 保育料については、所得によって異なるのに加えて、第2子以降の軽減措置など、現在複雑な料金体系となっています。今後の保育料については、第2子以降の保育料無料化の課題等も含めて、どのような軽減が可能であるか、さらに検討を深めていきたいと考えています。

■その他の質問項目

・加西市消防団条例の一部改正
(議案第72号)

・一般会計補正予算
(議案第81号)

水道事業について



中右 憲利 議員
(21政会)

問 加西市が買っている水の量は1日約1万4,100トン、そのうち県水が9,000トン、市川からは5,000トンということだった。

県水の場合、現状で8,750トンまでの単価が129円80銭、それを超えると一気に単価は48円に下がる。一方、市川の単価は一律100円、コストだけを考えると2ヶ所から買うよりどちらか一方にする方が断然安くなると思うがいかがか。

答 現在の契約単価に配水池入口までの維持管理費等を含め、県水への切り替え工事や維持管理の増加分を含めても、全てを県水にするのが一番コストが安くつくという試算をしております。また、水の確保という点におきまして、渇水時、震災時等を想定しましても、全て県水で心配ないものと考えています。

問 近い将来、県水の再値下げの可能性もあるということだが、加西市としては、現在、市川町に水の値段、量に関してどのような要求をしているのか。

答 市川町に対しましては、経費も含めた市川からの受水単価が、全てを県水にした場合の県水の受水単価と同等となるよう、また、

一般質問

契約水量の全量を必ず受水しなければならない責任水量とするではなく、契約水量の何割かを責任水量とするという契約に変更していくだけよう、現在交渉しております。

今申し込んでいる事項を市川町が受け入れていただければ、これまでの経緯もありますので、引き続き市川町から受水したいと思っております。

■その他の質問項目

- ・市内基幹道路の整備について
- ・アスティアかさいの空スペースの活用状況及び観光、商工業の振興について

クレジットカード納税について

一般質問



松尾 幸宏 議員
(自民の風・誠真会)

問 既に導入済である加西市のふるさと納税は、クレジットカード支払いが可能であるヤフーの公共料金収納システムを利用しておる、実績は現在でも全国第4位と上位をキープしている。

答 ポイントサービスやマイレージサービスというメリットのあるクレジットカード支払いを軽自動車税、固定資産税、住民税、国民健康保険税、水道料金、加西病院等の収納に利用できないのか。

問 県下においては、西宮市が平成25年5月より初めてヤフーの公金収納システムでのクレ

ジット収納を開始しています。これは納付書を自宅へ郵送し、その納付書に書かれている番号をインターネット画面で都度入力する必要があるというもので、継続的な取り扱いではありません。継続的なクレジット収納としては、神戸市、尼崎市、明石市、加古川市が上下水道関係の料金収納を実施しています。また、窓口型として、加東市民病院では医療費自己負担の支払いが可能であり、北播磨総合医療センターでは自動精算機でのクレジットカード決済も可能であるようです。

メリットとしては、口座振替同様に分割納付の管理・事務コストの軽減と、登録型による公共料金の継続的なクレジット決済においては、クレジットカード会社からの立て替え払いによる納期内納付率の向上が期待できる点があります。

しかし、導入にあたっての最大の課題は手数料が高いことで、市によってはクレジット収納の手数料を納税者に一定の負担を求めているところもあり、全国的に進んでいないのは、これらの理由によるものと考えられます。

加西市では過去取り組んできた口座振替・コンビニ収納を、住宅使用料や介護保険料にも広げるよう現在手続をしています。クレジット収納については、技術も進歩してきているため、手数料の低減化や近隣自治体の動向も踏まえて費用対効果を総合的に考慮し、システムの更新時期にあわせて検討していきたいと思っています。

■その他の質問項目

- ・北条鉄道活性化について
- ・ご当地ナンバープレートについて

防災体制の整備について

一般質問



長田 謙一 議員
(21政会)

問 防災体制の整備において、各小学校区の防災訓練も含め問題点及び課題は何か。

答 平成12年度より小学校区単位での自主防災訓練も、泉小学校区をもって一巡完了し、自主防災組織の重要性や災害時の役割の再認識、初期消火、避難誘導等の基礎的な防災活動を習得するという目的は達成できましたが、今後の課題としては、市主導の校区単位の訓練では一巡するのに10年以上かかり、経験が一部の方のみに偏る問題もあります。一番重要な命題は、訓練で培った知識を各自主防災組織においていかに育み伝達していくかであり、今後は新

たに図上訓練などを取り入れ展開する必要があると考えています。

問 組織体制の整備はどうか。

答 災害発生時には警戒本部または対策本部を設置し、市長が本部長となります。発生直後の初動体制がその後の災害対応に大きく影響するため、組織化については震度や警報の発令等により自動的に設立する方策をとっています。

問 勤員体制の整備また、時間外参集体制はどうか。

答 地震の震度や気象警報の発令による参集基準を設定した初動体制と行動マニュアルを定めており、県・国等の関係機関へはフェニックスを通じて連絡がいくシステムになっています。

問 防災ネットワークの整備はどうなっているか。

答 防災情報の伝達は、携帯電話を利用した加西防災ネットを主要手段としており、また、サンテレビのデータ放送「まちナビ」を7月より開設。さらに、総務省の補助を活用して全国瞬時警報システムの発信を防災ネットに自動配信できるよう改善しています。

問 他市町との防災機関との連絡体制はどうなっているか。

答 近隣市町、市内事業者、建設事業者とも応援協定を結んでおり、兵庫県においても、市の要請を待たずに自動的に物資を供給する体制がとられています。

■その他の質問項目

- ・災害時における医療体制の整備について
- ・避難収容体制の整備について
- ・緊急物資確保体制の整備について

健康福祉の増進と学校給食について

一般質問



衣笠 利則 議員
(21政会)

問 健康福祉の増進について

健康増進センターが健康福祉社会館に統合されたことによるメリットとデメリットについて。また、健康長寿日本一ができる施策とは…

- ・散策道の整備（健康道路）は考えておられるのか？
- ・三世代が一緒に暮らせる家族こそが健康の源ではないか。どのような施策はないのか？
- ・子供と家族の健康広場と活躍できるグリーンパーク善防の整備計

画は考えているのか？

答 ハード面では駐車場が広くなったため利用しやすくなり、ソフト面では健康課と同じ場所に移ったため、健康の拠点として多くの方に利用していただいています。市役所来庁時に予防接種の申請や制度の詳しい説明をお聞きになりたい方は、健康福祉社会館まで足を運んでいただくことになります。

次に、散策道については、各地域でふるさと創造会議において地元の要望・工夫をもとに、道路整備を進めていくのもよい方法ではないかと思います。

食育事業では多くの家族に参加していただいている、今後とも積極的に取り組んでいきます。

グリーンパーク善防については、

多目的グラウンドとしてスポーツ振興助成金等を活用して整備する計画を検討しており、早期の計画実現に努めたいと考えています。

問 学校給食について

学校給食の現状と給食費の負担について。また、食物アレルギー対策について。

答 北部の給食センターの開始により、すべての学校給食が開始され、全4,260食で単価は小学校で228円、中学校は250円になります。また食物アレルギーの対策については万全を期しております。



北部学校給食センター

全国に誇れる教育都市かさいの実現に向けて～教育長に聞く～

一般質問



深田 真史 議員
(加西の新しい未来を創る政策研究会)

問 エアコン設置後の小・中学の授業のあり方を大いに考えるべきだ。夏休みの期間短縮、土曜授業の復活などにより、学力向上や子供たちの得意分野をさらに伸ばすプログラムの導入を検討してほしい。学校施設を利用し、意欲ある教員OBやゲストティーチャーによる講座を開設してはどうか。

答 土曜授業は国の動向を注視していきたいと考えます。夏休みの短縮は、現時点において考えていませんが、今後も関係団体との連携により、さらなる工夫を加えな

がら、地域の方々や様々な専門性を持つ人たちの協力も得ながら、夏休みにおける子供たちの充実した生活づくりを進めたいと思います。

問 1学年に1つしか学級がない場合、同じ顔ぶれで6年間を過ごすことになる。生活面や学習面において固定されやすくなるため、様々な考えを出し合え、切磋琢磨できる環境をつくっていくことも大切。現在、算数などの授業できめ細かな指導が進められているが、体育や音楽、道徳など多人数の授業も必要である。少人数指導・少人数学級のデメリットを補うため、小学校間の「合同授業」の実施を検討すべきだ。

答 自然学校や体育大会、合同音楽会だけでなく、今後は毎日の授業を通じた身近な合同授業も視野に入っています。現在、インターネットを活用した合同授業・学

習のあり方を検討しており、小・小連携による広範囲な学校との合同授業の実施も期待できると思います。

問 部活動への外部指導者の活用・配置を拡大することを検討すべきだ。加えて、2つの中学校合同による部活動があってもいい。

答 教員数の減少や教員の高齢化、さらに指導経験の浅い教師の増加などにより、部活動指導者の確保が難しい状況が続いている。兵庫県の運動部活動支援事業に専門的な指導力を有する外部講師の派遣希望を継続しつつ、加西市としては学校づくり応援事業などを活用し、外部指導者等を招くことも視野に入れていきたいと考えます。

■その他の質問項目

・行財政改革について

加西病院の状況について

一般質問



高橋佐代子 議員
(自民の風・誠真会)

問 入院生活を経験して、ホスピタリティあふれる加西病院の温かい雰囲気に触れ、改めて地元の加西病院のありがたさと必要性を感じた。北播磨総合医療センターがオープンしたが、引き続き医療の質の向上と医療サービスの充実に努めていただき、加西病院が市民の安全・安心のよりどころとして発展していくことを願っている。

- ①今年度の入院患者数等の状況は?
- ②北播磨総合医療センターが開設したことによる影響は?
- ③国の医療制度改革の中で、地域でどのような役割を担う病院を目

指しているのか。
④行政として加西病院や地域医療をどのように支えていかれるのか。

答 ①4月～10月末までの入院患者数は4万7,250人、1日平均220.8人で、昨年同期と比べると3,157人、1日平均15人増加しています。病床利用率は、昨年度の79.3%から84.9%になり、今年度の経営状況は多少の好転を見込んでいます。

②10月は、加西市民が北播磨総合医療センターへ1日平均4.5人入院、外来は1日平均20人が受診されています。一方、加西病院には三木、小野、両市民が1日平均で13.1人入院、外来は1日平均25.5人が受診されました。北播磨総合医療センターが本格稼働した11月以降の状況を確認しながら、実質的な影響を判断していきたいと考えています。

③医療の質、働く環境の質、人

材を育てる環境の質の向上を図り、患者、市民、職員の満足度を高め、市内唯一の総合的な診療科構成を持つ急性期病院を目指したいと考えています。

④市民全体で地域医療を守っていくという意識を高めながら、加西病院における医療者の確保と安全な医療体制の構築を進め、地域の医療機関との連携のもと、市民が安心して医療にかかるよう努めます。また、加西病院が持続的発展をしていくよう、市の財政状況を勘案しながら、できる限り財政面での支援を続けたいと考えています。

■他の質問項目

- ・新教育長としての抱負について
- ・北部子育て学習センターの移転について
- ・ごみの減量とリサイクルについて

加西クリーンセンターの休止について

一般質問



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 小野市の施設では、10年ないし15年間を目標に適切な運営に努め、施設が大規模な改修とならないよう維持管理を行うとしている。しかし、そのような維持管理を行いつながらも大規模な改修が必要となつた場合には、適当な負担割合に基づいて加西市にも負担してもらうという決定事項だと思うのだがどうか。

答 大規模改修は行わないと決定事項に明示してありますので、仮に大規模改修、基幹改修が発生した場合は、規約に基づいた負担は当

然必要になりますが、毎年の補修計画によって15年間はもつということを決定事項において確認しており、そのとおり進められるものと考えています。

問 15年施設をもたせていこうと思えば、30トン炉については40年、50トン炉についても30年となり、通常からいえば当然それらの大規模改修も想定され、この点についての検討が必要である。もし間違ひなく大規模改修をしないということであれば、しっかりと長寿命化計画も示した上で比較検討されることが望ましかったのではないか。

答 平成元年の施設については、平成13年に約19億から20億かけて大規模改修をしています。また、日々の日常点検、補修を定期的にし

っかりとやっていけば、全国的な事例を見ても30年以上もっている施設があります。小野市においては、これら点検の進め方・やり方について適切に運用されているものと認識しています。

意見 効率性を示す際には、しっかりした資料や情報の開示を行い、政策形成過程から市民に知らせるのが本来である。「そういう形で努力される方向です」という程度で進めていいことなのか非常に危惧を覚える。

■他の質問項目

- ・公共交通総合連携計画に関連して
- ・介護保険制度の現状について
- ・水道料金の引き下げについて
- ・教育施設に関連して

5万都市再生は可能な命題か

一般質問



植田 通孝 議員
(自民の風・誠真会)

問 西村市長は「5万都市再生」を選挙公約に掲げて就任以来、2年6ヶ月の間に中学3年生までの医療費の無料化、水道料金の2割削減、新婚世帯向け家賃補助、若者世帯持家促進補助、UJITアーン促進補助、小中学校の耐震化、給食センターの新築等々、国の政権交代の風をうまく取り入れ、いろんな子育て支援や若者定住促進事業を精力的に展開してきた。しかしながら、成果として一向に人口増に転じていないばかりか、かえって人口減が加速している。人口減少の現状と各施策の具体的な成果数はどうなっているか。

答 ここ5年間の前年度比は、直近より△533人、△528人、△672人、△575人、△569人の減となっており、わずかながら人口減少カーブは鈍化しています。よって、施策の効果は一定あるものと認識していますが、各施策ごとの具体的な成果数を確定するのは非常に困難です。

問 市長の任期中に5万都市再生を実現するには、残り1年半で減少分を加味した約4,500人ふやさなければならぬ。南・東産業団地も満杯、パナソニックも軌道に乗ったが人口はふえない。これは人口の減少と増加の本質を見誤っていたとしか考えられず、政策を転換する必要があるのではないか。

答 市民が安心して行政サービスを受け、住み続けたいと思えるまちづくりを推進するためには、人口増施策を検討し実施

することが必要と考えています。

問 5万都市再生の政策について、市長はどうお考えか。

答 なかなか成果が出ず、施策に対する市民の皆さんへの疑問も理解できますが、人口をふやしていくことに対して関係者の方々から、それはおかしいと指摘されたことは一度もありません。引き続き困難な課題ですが、頑張って人口増の取り組みを強めていきたいと思っています。

■他の質問項目

- ・市民のコンセンサスを得たごみ処理の広域化
- ・古法華自然公園の松枯れの惨状
- ・平成24年度通学路整備の出来高と完成写真
- ・将来にわたるサステナブルな水道事業の運営
- ・6年後の各小学校の様態

図書館の充実について

一般質問



土本 昌幸 議員
(公明党)

問 雑誌スポンサー制度の導入についてお伺いします。国民の活字離れが進んでいると言われて久しい中、最近では多くの人に来館してもらおうと工夫を凝らしている図書館が少なくありません。

近年企業団体または個人が、図書館が所蔵する雑誌の購入代金の全てまたは一部を負担し、その見返りとしてスポンサー名を掲示や広告の掲載を行う雑誌スポンサー制度があります。

雑誌の購入費をスポンサーに負担してもらい、かわりに雑誌最新

号のカバー表面にそのスポンサー名、裏面に広告を載せる仕組みが一般的です。図書購入費の新たな財源を確保しつつ、地元企業などのPRや市民サービスの向上にもつながる有効な施策として注目されている本制度について、当局のお考えをお伺いします。

答 雑誌スポンサー制度は、雑誌オーナー制度とも呼ばれ全国的に取り組みがふえていると聞いています。

現在、加西市立図書館にある雑誌の種類は、週刊誌、月刊誌、季刊誌など合わせて170種類弱あり、これらは最新号を透明なカバーで保護した上で利用者が閲覧しています。

雑誌スポンサー制度では、企業や店舗などに雑誌を1年間購入していただくかわりに、透明なカバ

ーにメッセージまたは広告を挟み込み掲示していただくことができ、雑誌の寄附制度とも言えます。

雑誌は気軽に読めることから利用者も多く、その魅力を生かして図書館の活性化を図ろうと、加西市においても雑誌の充実には力を入れてまいりました。平成21年度までは、約280種弱の雑誌を所蔵し非常に充実しておりましたが、22年以降は財政難もあり、現在の170種弱へと減少しており、利用者減少の要因の一つにもなっています。この減少傾向を改善するための取り組みとして、実現に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えています。

■他の質問項目

- ・教育のあり方について

グリーンゾーンについて



別府 直 議員
(自民の風・誠真会)

問 通学路の安全対策として路肩をグリーンに着色した歩行帯は、現在どの程度整備できているのか。

答 グリーンゾーンは車両ドライバーへ通学路の通行を視覚的に認識させ、安全運転を促す目的で実施するものです。

市土木課による工事施工状況は、11月末現在で延長約5,560メートルの整備が完了しており、合同点検が必要であると判断された箇所についてほぼ完了しています。また、加東土木事務所による施工部分につ

いては、予定の延長6,270メートルに対し3,550メートルが完了済みとなっています。

問 グリーンゾーンによって近くに学校があることが明らかとなるのは非常に有意義だが、道路交通法上の通行区分と照合した場合、例えば片方だけのグリーンゾーンでは一体どちらを通って歩けばいいのか、小学生以外の通学者はどうするのか、小学生にしても登下校以外にどちらを通るのかなど、ルールがわかりにくいという声もある。これらの点について、警察や教育関係者、あるいは行政機関が一堂に協議する必要があると思うが、どのように対応されているか。また、そこで決定した方針について、1月の初参會を利用して周知してはどうか。

答 カラー舗装区間の通行については、市内11小学校区の児

童に安全指導の周知徹底、また、保護者へも文書等にてご理解をいただいています。

加西警察署に確認したところ、道路交通法ではより安全な空間の通行が基本となっており、小学生のみならず中学生、高校生、一般の方についても、また、登下校以外においてもカラー舗装された路肩部を通行するよう指導しているとのことです。

また、実情調査の上で認識を再確認するため、各関係機関と早急に合同会議を実施予定です。そのため初参會後となりますが、代表区長様を通じて、また、ホームページにおいて早急に周知徹底に努めたいと考えています。

■他の質問項目

- ・太陽光発電について
- ・人口問題について

天下溝の今後のあり方について



織部 徹 議員
(21政会)

問 享保年間1720年代に開かれた青野原新田、現加東市高岡町への主水源として、間接流域から注水する了徳寺池と、普光寺川から取水する等の天下溝がある。天下溝とは幕府が工事を行った天下御免の溝という意味である。

平成10年3月に高岡町から馬渡谷町等へ、天下溝の水利権を放棄すると一方的に通告があり、維持管理をしなくなった。馬渡谷町等は通告に同意していないが、平成10年の集中豪雨で馬渡谷町内の堤防が決壊し、放置できず堤防を復旧させて以降、溝さらいを行い管理している。これは受益者でない

馬渡谷町にとって大変な負担となっている。そこで数年前に加西市から出された通知は、どのような内容だったのか。また、通知について該当町は納得されているのか。

答 高岡地区が水利権を放棄したことから、関係4町と加西市、当時の滝野町、高岡地区と協議を重ね、県営事業として平成18年度から4年間に1億4,100万円をかけ整備をしています。追加改修や加西市による維持管理の要望があり、県と市で対応策について協議した後、回答文書を市長名で出した。その内容は、改修区間等の計画変更は無理であること、未改修区間にについて別途事業等で対応できるか検討すること、天下溝を該当町も利用しており維持管理をお願いすること、そして今後は応分の費用負担をいただくというものです

4町のうち1町は町内水路の経

路・形状の不安や維持管理の問題が大きく、通知内容の得心には至っていないところです。

問 実際に水路があるため使つてはいるが、なければ自分たちで何とかするという。誰が管理するかという大きな課題と溝だけが遺物として残り、これは10年、20年後も変わらない。関係機関等と相談し、何とか調整していただきたい。

答 町や市をまたがる歴史ある水路もあり、修繕も含めた維持管理については、広域で協議し統一した見解を持っていただく必要があります。行政も当然協力させていただく考えです。

■他の質問項目

- ・教育長の教育方針について
- ・水道水の値下げについて

議会報告会を開催しました

9月定例会の議会報告会を開催しました。4会場で延べ91名のご参加をいただきました。

【第1部】9月議会の報告

【第2部】意見交換(公共交通の現状とあり方について)

開催年月日	場 所	参加者数
平成25年11月20日(水)	善防公民館	12
平成25年11月21日(木)	北部公民館	25
平成25年11月25日(月)	市民会館小ホール	18
平成25年11月26日(火)	南部公民館	36



北部公民館(11月21日)

■いただいた意見と回答、要望(アンケート含む)

【9月議会の議案について】

○市長の信任案を出す議会など聞いたことがない。判決で明確になっていることについて、任命権者の市長に責任を取らせない今まで市政がうまくいくのか。
→信任決議は可能で事例もある。教育長の選任時に双方からの聞き取りはできなかったが、市長もその内容については把握しているとのことで、議会は同意したものです。

→市長からは、係争中である本件については時間が必要であり、市民の代表としての議会の意見を聞きたい。また、議会の判断があれば真摯に受け止める主旨の答弁があった。そのため議会としての態度を明確にすべき必要があり、不信任案を含めて確認したが出さないとのことであった。結果として少ない事例ではあるが信任案が議決された。人権問題は別問題として認識しています。

○議会における人事案件の取り扱いについて、審議時には文書が議員に届いている。即決せずに休憩を挟んだり、委員会審議での調査など時間をかけるべきではなかつたのか。

→本会議開会の直前に文書が届いた。人事案件の委員会付託は事例がないため即決してきた。そのときの判断であって、指摘・批判はやむを得ないと捉えています。

【意見交換のテーマ「公共交通の現状とあり方」】

○公共交通は営業の収支を考えるより、福祉施策の意味合いで充実させるべきと考えるが、現状は地域・校区によって差が大きい。

→ご指摘のとおり、地域によって不便なところがあり、現状を再編する連携体制の整備を目指している。今後の検討課題にしたいと思っています。

○利用者増だけを求めるのか、赤字覚悟で少人数であっても交通弱者の利用を確保するのか。どのようにして公平公正に安心安全を確保しながら、将来の不

安を解消していくのか。

→利用者をふやす工夫、デマンド型の導入、また、タクシー会社への委託等、加東市の取り組み等を参考に各地域の充実を図っていきたいと考えています。

○公共交通は範囲が広く、どのような組み合わせがいいのか難しい。費用対効果も重要だが、利益を追求すると、地区や人口により差が出てくるように思う。交通弱者がより便利に利用できるようになっていかなければと思う。

○ひとつの視点として、デマンド内容から考えてはどうかと思う。「公共交通を充実させること」を第一義とせず、例えば①病院通いに困る②買い物が不自由などに対して個々の改善を試みるという考え方はどうか。同じ方向ではあるが改善策が異なってくる。要は「困っていることの改善」を積み上げれば、必ずしも広い大きな交通網が必要とも言えないのではないかと思う。

○移動ストアの活用や、高齢運転者の安全運転のための自動車教習を強化してほしい。

【市政に関する意見・要望・質問事項】

○鳥獣害防止柵の設置作業費を市や県の方で補助してくれるよう議会から要望していただきたい。

○加西市史の在庫を活用するために、公民館等への寄付をしてはどうか。また、播磨国風土記のパンフレットはわずか3,000部と報道されていたが、市全体で盛り上げるためにも全戸配布してはどうか。

○報道された福井県鯖江市のオープンデータ制度について、加西市でもぜひ取り組んでいただきたい。

※詳細な内容については、議会ホームページでご覧いただけます。

市議会トピックス

■ 議会改革先進市議会を視察（平成25年11月13日～15日、議会運営委員会）

加西市議会では、議会基本条例を制定後3年が経過し、見直しの時期を迎えていました。そこで、議会改革の上位にランクインされている先進市議会を視察し、参考にするべく持ち帰った調査事項について、勉強会（平成25年12月24日）を実施しました。より高度な議会運営を目指して、引き続き検討していきたいと考えています。

議会改革の取り組み（一部抜粋）

加西市の改革度…7位（※1）、12位（※2）

視察地	特徴的な取り組み
埼玉県所沢市 (議員定数:36、人口:約34万人) 改革度6位（※1）、73位（※2）	<ul style="list-style-type: none"> ・自由討議（委員会） ・議会事業評価、議会改革評価 ・政策討論会（全議員参加）
新潟県上越市 (議員定数:32、人口:約20万人) 改革度5位（※1）、7位（※2）	<ul style="list-style-type: none"> ・議員勉強会 ・議会ポスト（市民の声） ・自由討議と、積極的な政策立案や提言（委員会） ・意見交換会（H25年度からは2年間で28地区）
岐阜県高山市 (議員定数:24、人口:約9万人) 改革度11位（※1）、4位（※2）	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会 ・委員会を中心とした政策形成サイクルを確立中 ・議員研修会（市民参加も可能） ・政策討論会（合意後に提言案を提出）

※1…日経グローカル(2012)、※2…早稲田大学マニフェスト研究所(2012)

※詳細な内容については、議会ホームページをご覧いただけます。



埼玉県所沢市

■閉会中の委員会の開催日程

建設経済厚生委員会を2月3日（月）、総務委員会を2月4日（火）いずれも午前10時に開催します。

ぜひ、傍聴やインターネット中継で審議の様子をご覧ください。

■平成26年（3月）加西市議会定例会の日程

月 日	曜 日	時 間	会 議
2月25日	火	9：00	議会運営委員会
		9：40	議員協議会
		10：00	本会議（提案説明等）
2月27日	木	15：00	発言通告期限（一般質問）
2月28日	金	15：00	発言通告期限（質疑）
3月 6日	木	9：20	議会運営委員会
		9：40	議員協議会
		10：00	本会議（質疑・一般質問）
3月11日	火	9：20	議会運営委員会
		9：40	議員協議会
		10：00	本会議（質疑・一般質問）
3月12日	水	10：00	本会議（予備日）
3月13日	木	9：00	総務委員会
3月17日	月	9：00	建設経済厚生委員会
3月18日	火	9：00	委員会（予備日）
3月25日	火	9：20	議会運営委員会
		9：40	議員協議会
		10：00	本会議（最終日、委員長報告・採決）

ようこそ
市議会のホームページへ

加西市議会

検索

本会議・委員会の日程を初め、一般質問の通告内容や発言順も掲載しています。また、インターネットによる議会中継（生中継・録画中継）もご覧いただけます。ぜひ一度ホームページをご覧になって関心のある本会議や委員会を傍聴してみてください。

※日程は変更になる場合があります。傍聴を希望される場合は、議会事務局（TEL42-8790）でご確認ください。本会議の傍聴は市役所議会棟4階でできます。

※質疑・一般質問の内容や発言順序は、2月28日（金）に加西市議会のHPに掲載予定です。

発行／加西市議会

編集／議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾1000

TEL／0790-42-8790 FAX／0790-43-1810

email／gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委 員 長 長田 謙一

委 員 井上 芳弘

委 員 高橋佐代子

副委員長

深田 織部

委 員 別府 徹直

委 員 別府 徹直

パンチ穴を開けられる場合はこちらを中心ってください